

# ふくい社会福祉

2022  
**5**  
No.454

Fukui Social Welfare



## こころでつながろう!福井

令和4年4月11日、本会が運営する「ふくい外国人介護職員支援センター」の第一期生であるタイ人介護技能実習生6名を福井県に迎えました。(詳しくは、特集記事をご参照ください。)

## CONTENTS

2.3P **特集**

### 県内初のタイ人技能実習生の受入れ

～外国人介護人材育成支援事業～

4.5P

事業報告

◆ 令和4年度事業計画・当初予算の概要

8P

◆ 寄付・寄贈

◆ 「積善会号」があなたのまちへ

～福祉サービス車両購入助成事業～

◆ ラジオ講座いきいきライブ受講生募集中

6.7P

社協TOPICS

◆ 令和4年度「ふくい福祉就職フェア」のご案内

◆ 社会福祉研修(令和4年6月～)のご案内

◆ 生活福祉資金 緊急小口資金等特例貸付の受付期間延長のお知らせ

別紙

賛助会員名簿



# 県内初のタイ人技能実習生の受入れ

外国人介護人材育成支援事業



本会では、昨年2月に外国人技能実習制度における監理団体の許可を取得し、「ふくい外国人介護職員支援センター」を開設して、県や県介護福祉士会との連携により、介護人材の育成支援に取り組んでいます。

この間、コロナ禍に伴う外国人の入国制限で、来日が延期となっていました。この4月に第一期生となるタイ人介護技能実習生6名を福井県に迎えることができました。



「タイ人技能実習生受入式」  
実習施設等の受入関係者が技能実習生を迎えて受入式を催した。  
(4月11日 於：県社会福祉センター)

## SNSによる交流で不安を解消

今回、受け入れた技能実習生は、当初、令和3年9月の入国を予定していましたが、しかし、世界的なコロナ禍により、日本、タイ双方において出入国手続きが進まず、日本への入国時期が予測できない状況が続いていました。

受入施設はもちろんのこと、技能実習生にとっては経済的事情からも早い来日が望まれましたが、入国再開時期が不透明な中、日本行きへのモチベーションが低下することや日本語能力の維持向上が大きな課題でした。

そこで、技能実習生、受入施設、監理団体、送出機関によるグループラインを作成し、ビデオチャットを活用した学習や生活に関する情報交換、施設利用者とのスマートフォンでの画面越しでの交流、日記による作文能力のチェックなど、積極的なコミュニケーションを図ったことで、技能実習生、施設間の理解が進み、全員が高いモチベーションのまま入国に備えてくれました。

そして、令和4年3月、検査や一定の行動規制等のもとで外国人の入国が認められることになり、送出機関の協力もあって、今回の入国が実現しました。



入国後講習の様子

## 福井での生活と入国後講習

4月5日の入国日から待機期間を経て4月9日に来福。実習生達は、約1か月にわたる入国後講習として、福井、日本の生活習慣、日本語や介護技術等について学びました。

気温35度前後のタイから、まだまだ肌寒い福井にきたこと、また、生活様式が大きく変化したことでの体調も心配されましたが、この1か月間を無事に過ごすことができました。

入国後講習は5月6日に終了し、5月9日からは県内3つの介護施設に分かれて3年間の実習が始まっています。

## 技能実習生受入れの流れ

※今回の6名

令和3年

雇用条件をタイ大使館が承認

受入施設との面接・雇用契約 (4月)

入国前講習 (5~8月)

技能実習計画の認定  
在留資格認定

※当初の入国予定時期 (9月↓遅延)

※現地学校にて学習を継続  
※入国時期の見通しが立たず  
全員一時帰省  
各自アルバイト等就業

令和4年

入国制限緩和 (3月)

入国関係手続開始

入国前講習 (介護技術)

入国 (4月5日)

入国後講習 (1か月)

実習施設配属 (5月9日)

〈福井市、敦賀市の3施設〉  
※技能実習開始 (3年間)

SNS、ビデオチャット等で随時のコミュニケーションを継続



## 第二期生の受入れ

現在、第二期生の受入れの準備を進めており、4月28日には受入を希望する4施設による面接会を実施しました。(候補者は全員が日本語能力試験N4相当合格者)

今年8月の入国(予定)をめざし、今後、入国前講習や各種認定手続き等を行います。

## タイの高校生を 福井の介護人材に

県はタイのドウアン・プラティープ財団、現地高校との連携による介護人材の教育支援プロジェクトにも取り組んでいます。

県介護福祉士会の協力のもと、介護福祉士を現地に派遣し、介護の訓練を行うとともに、現地高校への日本語教員配置や日本語教育アドバイザーによる教育支援体制を構築しています。

現在、現地の複数の高校がこのプロジェクトに関心を示していますが、日本語習得の難易度が高いため、教育支援体制のさらなる拡充が課題となっています。

なお、プロジェクトの推進にあたっては、現地との詳細な協議や信頼関係の構築を目的に、出入国制限が緩和された今年3月、県・県社協・県介護福祉士会・プラティープ財団ふくい支援の会がタイの高校や関係機関を訪問し、今後の取り組みについて協議を行っています。



## 技能実習生インタビュー



### 【福井県の第一印象は?】

- 福井県の景色はとてもきれいで空気もおいしくて気持ちがいいです。
- 生活がしやすく、人が親切です。
- 福井県は静かな町です。
- 山がたくさんあります。
- 福井県は四方を山に囲まれているのでどこにいても山が見えるのがすばらしい。

### 【今、どんな勉強をしていますか?】

- 日本語と介護と生活の勉強をしています。
- 日本語の文法や介護の言葉や介護の場面を勉強しています。



強めています。

- N3の勉強をしています。

### 【不安なことはありますか?】

- 日本語を心配しています。話すとき、正しいかどうかわかりません。勉強したのに忘れてしまいます。
- 日本語がまだ上手ではありません。日本の人と話すとき、話が早すぎて聞き取れないことがあります。
- 気温が心配です。寒い冬が苦手なので我慢できるか少し不安です。
- 知らない言葉を話すときが大変。説明したいのに、知らない言葉がたくさんあります。

### 【今後に向けて抱負を教えてください!】

- N3に合格したい。(N2に合格したい。)
- 将来は看護師もめざしたい。
- 一所懸命介護の仕事で働きたい。
- できれば介護のエキスパートになりたい。
- これから介護のことについて勉強してすばらしい介護士になりたい。
- 職場の同僚と親しくなりたいです。

技能実習生はタイで日本語を学び、基本が出来たので、私たちは授業を順調に進めることができました。日常的な言葉や介護の言葉について、よく理解し話せていました。漢字や作文にも積極的に、互いに励ましあい、笑いながら学ぶ様子が印象的でした。

これから介護施設での実習が始まります。まずは介護技術の習得が大事ですが、日本での生活もぜひ楽しんで充実した日々を送ってほしいと思います。将来は介護のプロとして力を発揮し、皆さんのそれぞれの夢が実現できることを期待しています。



日本語の輪を広げる会  
日本語講師  
玉井 美喜子氏



入国後講習  
指導者の声